

くずし字入門講座1 人名・地名

日時：2022/6/4（土） 10:30-12:00

会場：福井県文書館研修室

講師：福井県文書館 主査 三好 康太

画像：年月日未詳「村名（大野村尽、手習手本、「中屋可能」）」伊藤三郎左衛門家文書（当館蔵） I0058-00342

今日のテーマ

人名：くずし字で書かれた人名を読む

「右衛門」「左衛門」「兵衛」「郎」などのよく出てくるパターンを学習する

推測して読む、他のくずし字と比較して読む、といった判読のコツを身につける

地名：くずし字で書かれた地名を読む

福井県の昔の地名をくずし字を判読しながら学習する

くずし字で書かれた地名を判読する練習をする

人名を読む (1)

人名にはいくつかのパターンがある→よく出てくる人名

衛門：主に「**右衛門**」と「**左衛門**」。書き順や形状で「**右**」と「**左**」を区別する。非常に特殊なくずし方になる。必ず辞書で例を見ておく。なお、「右」「左」がない「**衛門**」の時もあるので、先入観や偏見で読まない。

兵衛：「**兵**」と「**衛**」のくずし字も大事だが、「**兵衛**」になった時のくずし方も特殊なので、辞書で例を見ておく。

郎：「**太郎**」「**次郎**」「**三郎**」など。ただし、「**朗**」「**良**」の可能性もあるので、辞書でそれぞれを比較して判読すること。

太夫 (大夫)：「**三太夫**」「**平大夫**」など。形を見て「**太夫**」と決めつけず、「**大夫**」という可能性も考える。「大」と「太」は書き順や形状で区別する。

人名を読む (2)

パターンは応用できるので、柔軟な発送を持つ

「太郎右衛門」「次郎兵衛」「三郎太夫」など、人名はいろいろ。
考えられる組み合わせを全て試す。1個のパターンだけで終わらない。
後から間違いに気づいて直すのはOK

複数の人名が同時に出てくるような資料で勉強する

似たような形の字が出てくると、判読のヒントとなり、読みやすい
「右」「左」を比較する、などの学習ができる
大変だが、くずし字をたくさん読めるのでお得
「連判(状)」「人名(家名)」などのキーワードで資料を探す

使う資料

1837年（天保8）10月「[黒目村御寺様同行五ヶ村名前判形帳](#)」
[松田三左衛門家文書（当館蔵）](#) A0169-00934

「黒目村御寺」とあるが、黒目の称名寺（坂井市三国町）のこと

資料の概要

称名寺が「御二代」を迎えたが、「御本山」（浄土真宗高田派の総本山である専修寺）の掟に背き、「御二代」は他流派から称名寺に入ってきた。

「御二代」が住職としてふさわしい人物ではなかったため、檀家はこれを承知しなかった。

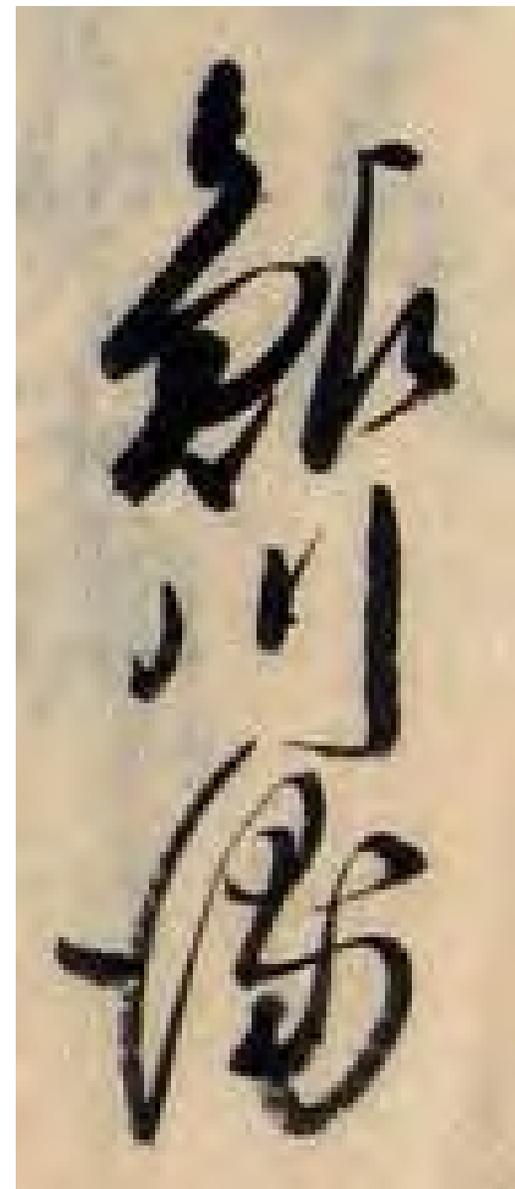
そこで、別紙の口上書を提出し、意見を述べることとなった。

連判した人々が今後どのようなことがあっても称名寺についていくことを誓約している。

1文字目 「鮎」

2文字目 「川」

3文字目 「浦」



1文字目 「徳」

2文字目 「兵」

3文字目 「衛」

4文字目 「（印）」



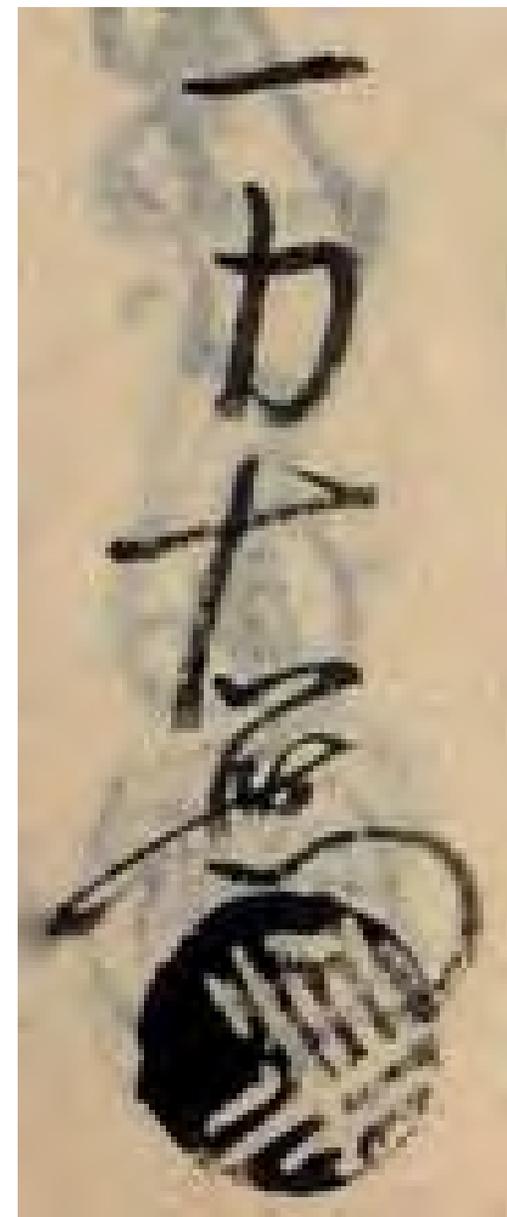
1文字目 「万」

2文字目 「右」

3文字目 「衛」

4文字目 「門」

5文字目 「（印）」



1文字目 「惣」

2文字目 「左」

3文字目 「衛」

4文字目 「門」

5文字目 「(印)」



1文字目「弥」

2文字目「兵」

3文字目「衛」

4文字目「(印)」



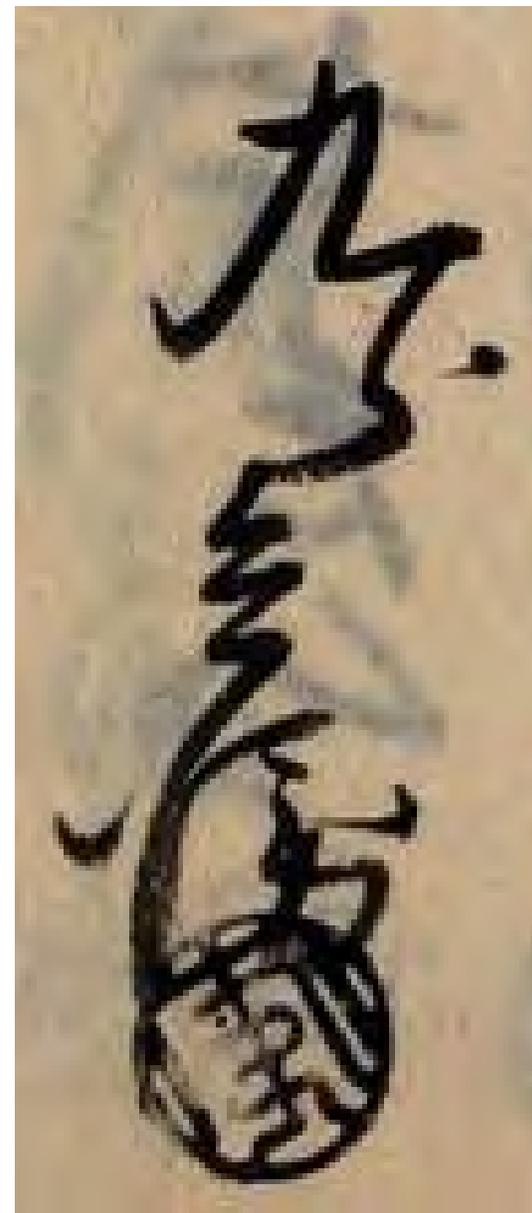
1文字目 「九」

2文字目 「郎」

3文字目 「兵」

4文字目 「衛」

5文字目 「（印）」

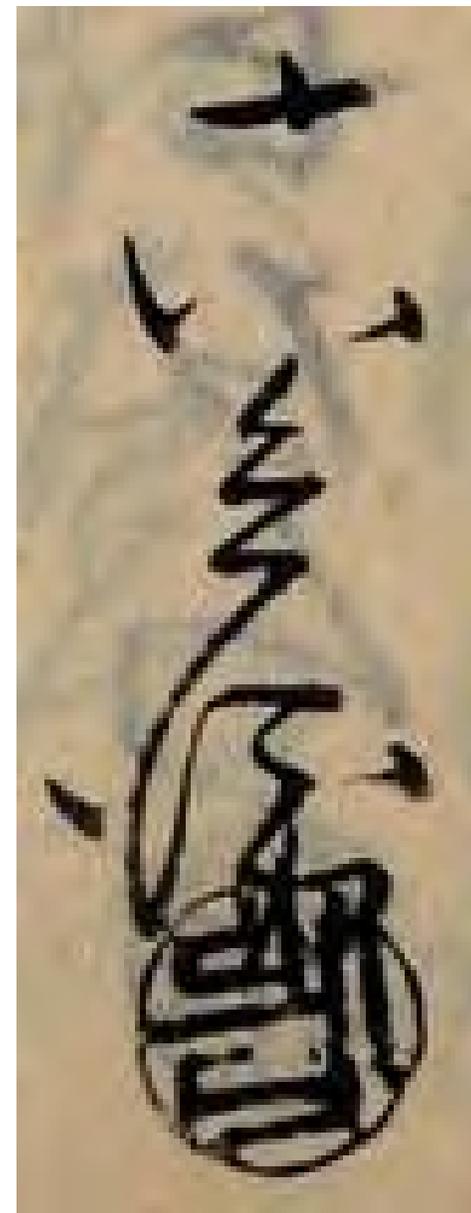


1文字目「六」

2文字目「兵」

3文字目「衛」

4文字目「(印)」



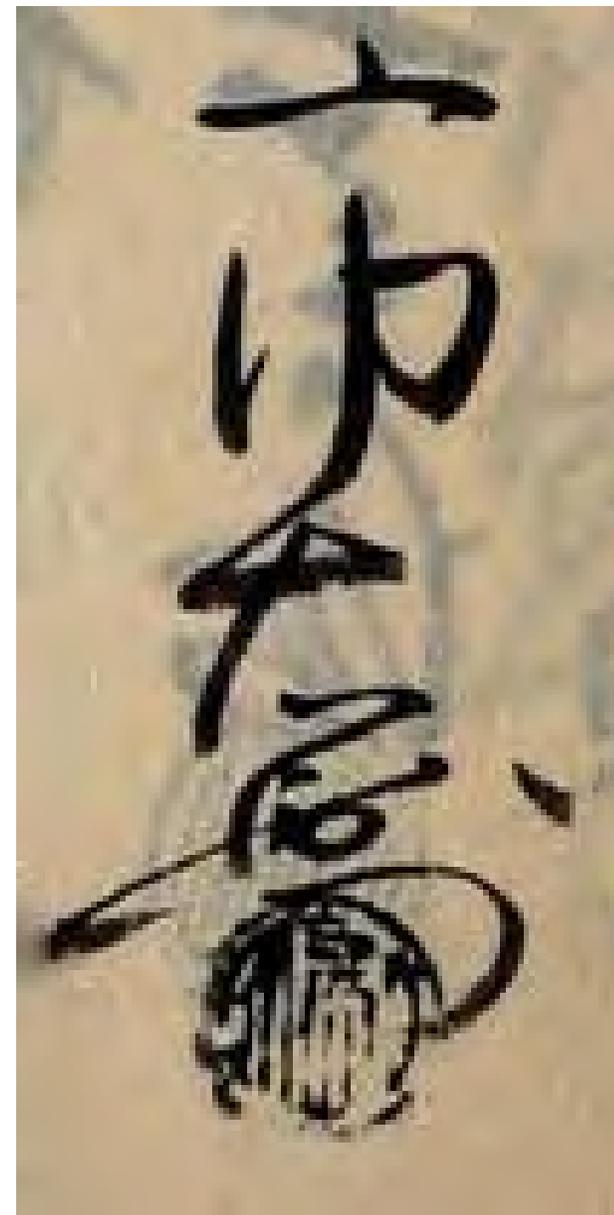
1文字目 「市」

2文字目 「右」

3文字目 「衛」

4文字目 「門」

5文字目 「（印）」



1文字目「長」

2文字目「三」

3文字目「郎」

4文字目「(印)」



1文字目「又」

2文字目「兵」

3文字目「衛」

4文字目「(印)」



1文字目「彦」

2文字目「助」

3文字目「(印)」



1文字目 「小」

2文字目 「く」

3文字目 「ら」

4文字目 「や」

5文字目 「(印)」



1文字目 「浜」

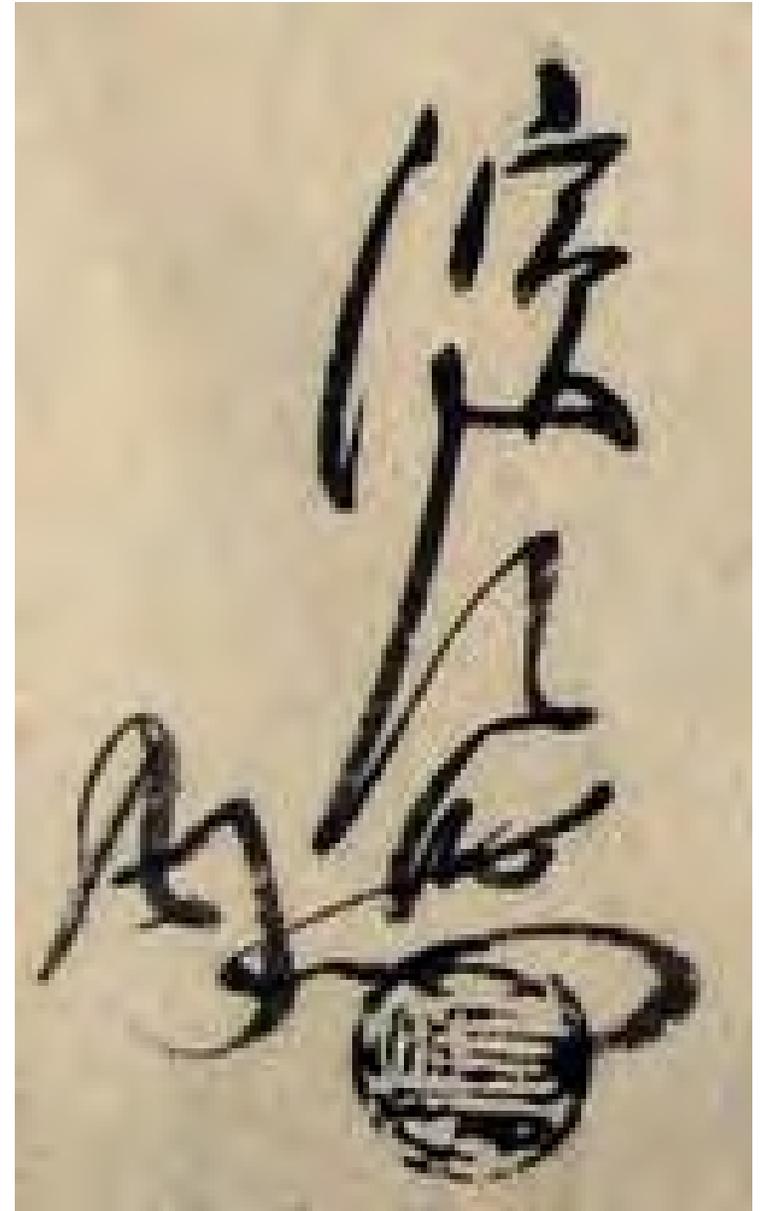
2文字目 「左」

3文字目 「衛」

4文字目 「門」

5文字目 「（印）」

6文字目 「内」



地名を読む（1）

地名を読むのに便利なツール「地名辞典」

困ったら、ずるいかもしれないが先行研究に頼る

小字を除けば、たいていの地名を探すことができる

小字は[自治体史](#)（『武生市史』『大野市史』など）で探すこともできる

『[日本歴史地名大系18 福井県の地名](#)』（平凡社 1981年）

地名を探すなら、まずはこれ

県立図書館と文書館の閲覧室に置いてある

後ろに五十音順の索引がある

探すのに困ったら、資料や家、人名などの情報を調べて、地域をしぼる

「平成の大合併」以前の文献なので、市町村名で探す時は注意

地名を読む（2）

地名は今と違うことも多い

「島」「嶋」のように、読みは同じでも字が違うこともある
昔は「上～」「中～」「下～」と分かれていたこともある
現在は残っていない地名もある
柔軟な発想と解釈で対応して、判読する

よく出てくる字の例

区：「～区」

村（邑）：「～村」

町：「～町」

市：「～市」

県（縣）：「～県」

使う資料

年月日未詳「村名（大野村尽、手習手本、「中屋可能」）」

伊藤三郎左衛門家文書（当館蔵） 10058-00342

江戸時代の手習いのお手本と思われる資料

お手本なので、大きな字で書かれていて読みやすい
くずし字の難易度は低め

量が多いので、今回は一部だけ

登場する地名は現在の大野市に通じる

伊藤三郎左衛門家は大野市の家

地名辞典では大野市を中心に探す

祖上名不香

多思名不香

源井上流丹

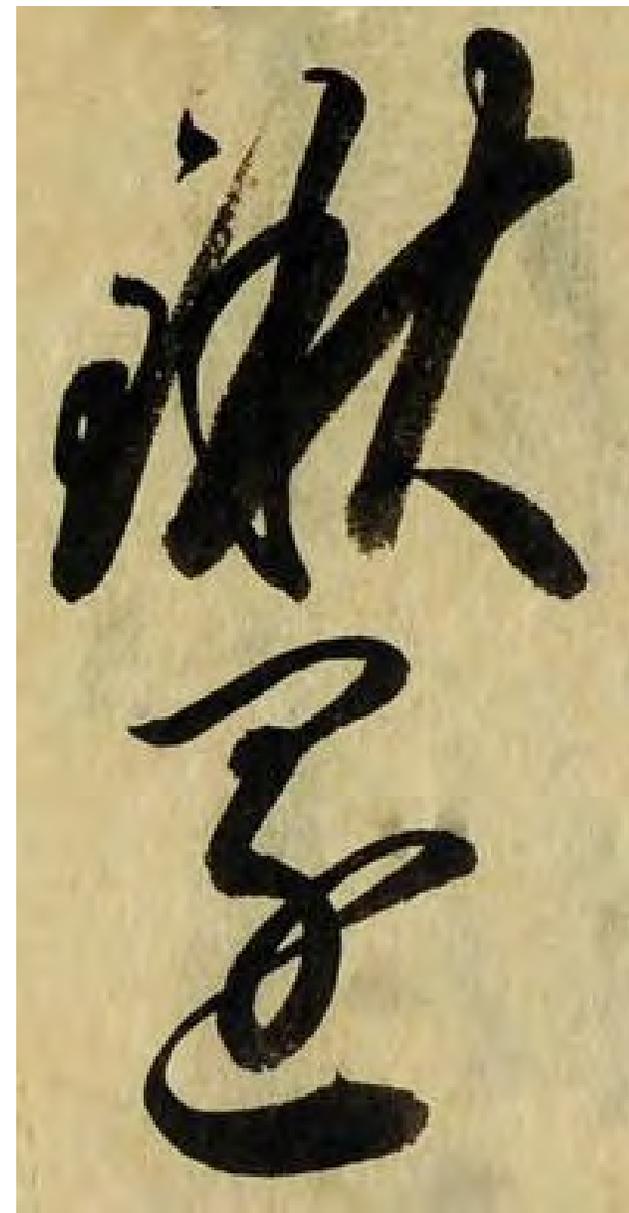
多淋子服浴

10058-00342

福井県文書館

1文字目 「鋤」

2文字目 「懸」



1文字目 「飯」

2文字目 「降」



1文字目「深」

2文字目「井」



1文字目 「上」

2文字目 「荒」

3文字目 「井」



1文字目 「両」

2文字目 「黒」

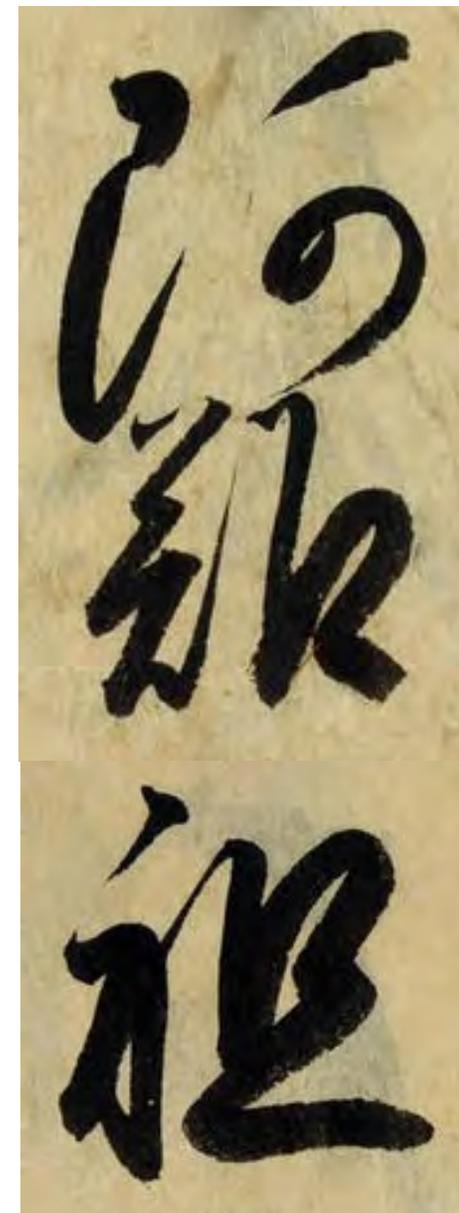
3文字目 「谷」



1文字目 「阿」

2文字目 「難」

3文字目 「祖」

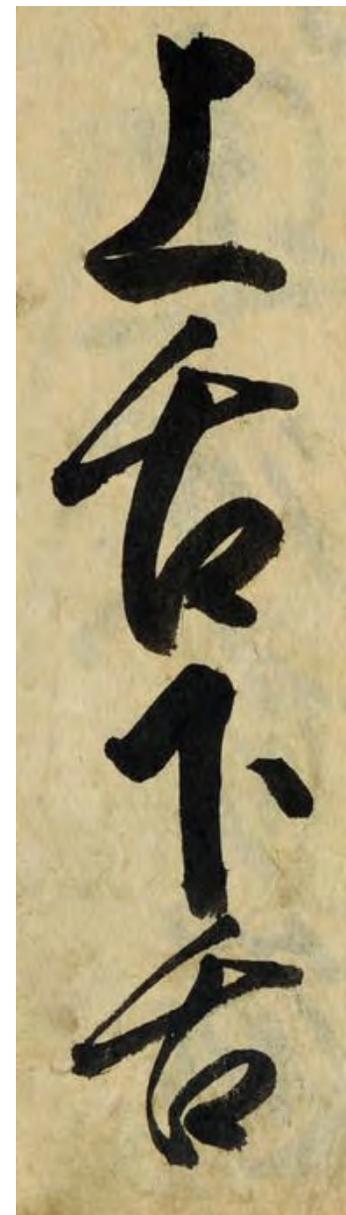


1文字目 「上」

2文字目 「舌」

3文字目 「下」

4文字目 「舌」



さらなる上達のために (1)

くずし字の習得方法

一字ずつ観察して覚える

字の筆跡を真似て、書いて (なぞって) 覚える

音読して覚える

My (マイ) 辞典 (字典) を作る

単語帳のようにノートを作る

受験生のようにカードを作って覚える

自分の辞書に一度見た字をマーキングする

さらなる上達のために（２）

文章の中で推測する訓練をする

推測するうちに、くずし字を覚えることになる

文章全体を観察する

多少読めない字があっても、文意を読み取る

字や単語で覚える＋文章の中で覚える

一字ばかりにこだわらない

文意が読み取れるだけでもおもしろい

読めない字は後からわかることもある

さらなる上達のために (3)

予習→授業→復習→予習→授業→復習...

講座を数回受講しただけでは不十分

くずし字が読めるようになるには、継続した学習が不可欠です

毎日、毎週のようにくずし字を読む機会を作りましょう

自学自習のための教材の例

『古文書はこんなに面白い』（油井宏子 柏書房 2005年）

『これなら読める！くずし字・古文書入門』（小林正博 潮出版社 2018年）

『はじめての古文書教室』（林英夫監修 天野出版工房 2005年）

自分の目で見て「これが自分に合っている」というものを選ぶ

タイトルや表紙だけで選ばない、必ず中身を読んでから選ぶ

さらなる上達のために（４）

インターネットの力を借りる

自宅にいながら簡単にくずし字の勉強ができる

パソコンやタブレット、スマートフォンの使い方の勉強もできる

くずし字講座や古文書講座のテキスト

全国の図書館や文書館、博物館などのホームページで配布されている

学習目的であれば、ダウンロードして印刷して使ってOK

テキストの探し方

「古文書 テキスト」「くずし字 テキスト」「くずし字 講座」などで検索

ホームページのタイトルやURLなどで、どこ（誰）が作っているかが分かる

文書館などの施設は電話やメールで質問すると答えてくれる可能性が高い

さらなる上達のために（5）

みんなで翻刻

インターネット上で他人と協力しながら資料を翻刻する活動
一人でくずし字の判読を進める＋他人の協力も得られる
困ったらAI（人工知能）がくずし字を判読してくれる

福井県文書館も連携しています

文書館に寄贈・寄託されている資料の翻刻ができます

6月25日（土）AMに講座を開催します！

ノートパソコンをお持ちの方ならどなたでもご参加できます
使い方を職員がご支援します

みんなで翻刻

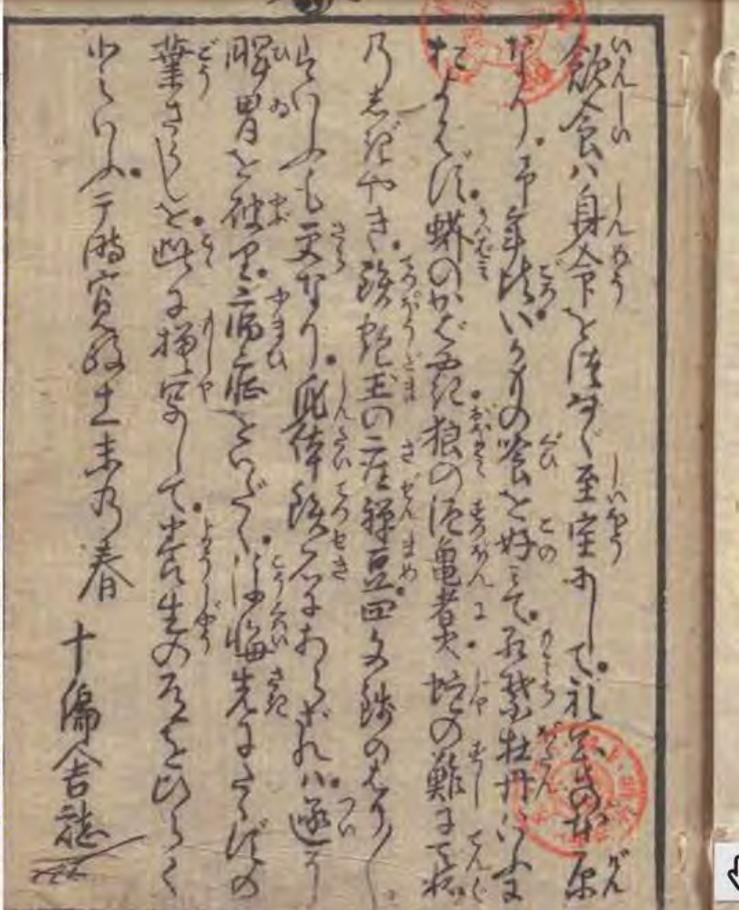
腹内養生主論 3巻
翻刻！江戸の医療と養生> コレクション1

2 (1) / 18
編集開始

閲覧 入力 編集履歴 書誌情報 凡例 DL

8 7 6 5 4 3 2 1

飲食(いんじい)は身命(しんめう)をつなぐ至宝(しほう)にして。礼義の本原(げん)なり。予年頃(ころ)いかもの喰(くひ)を好(この)みて。紅葉(もみち)牡丹(ぼたん)はいふにおよばず。蟒(うはばみ)【蟒】のかばかき。狼(おほかみ)の酒亀煮(すつぽんに)。蛇(じや)の鯨(すし)に天狗(てん)のしぎやき。鉄砲玉(てつぽうだま)の座禅豆(ざぜんまめ)。四文銭のほりく。といふも更(さら)なり。身体(しんたい)鉄石(てつせき)にあらざれば。遂(つい)に脾胃(ひゐ)を破(やぶ)り。病症(やまひ)をいだし。後悔(こうくはい)先(さき)にたつずの業(ごう)そうしを。此(こゝ)に模写(もしや)して。養生(ようじやう)の道(みち)をひらくといふ。于時寛政十一末の春 十返舎誌



画像を翻刻



読み方の候補をAIがスコアを付けて提示

候補文字スコア	
善	0.95
谷	0.05

デジタルアーカイブ福井の資料を翻刻

デジタルアーカイブ福井の資料を翻刻 - 松平文庫

 温古集 二巻 <small>福井県立図書館 Fuku Prefectural Archives</small> 7/156コマが翻刻	 天災之部・御普請之部・屋敷之部 <small>福井県立図書館 Fuku Prefectural Archives</small> 8/91コマが翻刻	 少傅日録抄(齊承付側向頭取日記、在国) <small>福井県立図書館 Fuku Prefectural Archives</small> 0/175コマが翻刻
 漂客談奇(備考雑録写8) <small>福井県立図書館 Fuku Prefectural Archives</small> 30/40コマが翻刻	 温古集 四巻 <small>福井県立図書館 Fuku Prefectural Archives</small> 18/113コマが翻刻	 温古集 五巻 <small>福井県立図書館 Fuku Prefectural Archives</small> 14/111コマが翻刻

みを：AIくずし字認識アプリ

くずし字資料を読みたい人を手助けするアプリ

スマートフォン搭載のカメラで資料を撮影し、ボタンを押せば、AIがくずし字を現代の文字に変換してくれる

認識結果をテキストとして出力し、コピーして他のアプリで使うこともできる（コピーアンドペースト）

どちらかというと、くずし字を読むのは初めての人向け

江戸時代の版本に対する精度が比較的高めだが、他の時代の資料では精度が低い（画質も重要）

石碑や看板などに書かれたくずし字は、現在のところ認識できない

実演タイム！

AIくずし字認識アプリ「みを」を使ってくずし字を読んでみましょう

最後に

これで「くずし字入門講座」は終了です
ご参加いただきありがとうございました

講座に出るだけで満足せず、継続した自学自習を行い、どんどんくずし字を読んでください

ホームページでくずし字講座の問題を配布していますので、ぜひご利用ください

次回の講座：6月11日（日）10:30～12:00

参考・参照（1）

『江戸・戦国のくずし字古文書入門』

（菅野俊輔 扶桑社 2019年）

『おさらい古文書の基礎－文例と語彙－』

（林英夫 柏書房 2002年）

『書ければ読める！くずし字・古文書入門』

（小林正博 潮出版社 2018年）

『くずし字解読辞典 普及版』

（児玉幸多 東京堂出版 1993年）

『くずし字辞典を引いて古文書を読もう』

（油井宏子 東京堂出版 2019年）

参考・参照（2）

『くずし字用例辞典 普及版』

（児玉幸多 東京堂出版 1993年）

『実力判定 古文書解読力』

（小林正博 柏書房 2016年）

『知識ゼロからの古文書を読む』

（古賀弘幸 幻冬舎 2020年）

『日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法』

（日本史史料研究会 吉川弘文館 2015年）

『日本歴史地名大系18 福井県の地名』

（平凡社 1981年）

参考・参照（3）

木簡・くずし字解読システム

<http://mojizo.nabunken.go.jp/>

「黒目村御寺様同行五ヶ村名前判形帳」

https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-325552-0

「村名（大野村尽、手習手本、「中屋可能」）」

https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/da/detail?data_id=011-434514-0

みんなで翻刻

<https://honkoku.org/>

ホームページの閲覧日は全て2022年6月1日